

津波避難計画

小針小学校校区コミュニティ協議会

この『地域版津波自主避難マップ』は、コミュニティ協議会が協議して作成したものです。平成28年5月作成

新潟地震の時は…

- ・大堀幹線で液状化が発生し、死者が出た

地域の社会特性

- ・低平地にしか避難所がない
- ・高いビル・事業所が少ない
- ・世帯数は約4,800世帯

地域の被害特性

- ・浸水想定地域、避難者受け入れ地域が混在
- ・大堀幹線が海拔が低くて危険度が高い
- ・西川の河川遡上被害が懸念される
- ・西川を挟んで地域が分断される
- ・地形的に水が溜まりやすい(H10.8.4新潟豪雨で被害あり)

各ブロックごとの具体的な避難方法

ブロック	特徴	期待される避難行動	避難目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者受け入れ地域 ・比較的標高の高い地域だが、土砂災害(かけ崩れ)の可能性もある ・浸水想定区域より上は、急傾斜でかつ広い ・通れる道路も限られ、小針十字路以外は道幅が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の被害や火災の発生状況などから避難するか自宅に留まるか判断する ・車での避難は難しいので、徒歩での避難を徹底する 	第1目標:一時避難場所(自治会) 第2目標:青山セレモニーホール駐車場、アーバンホール駐車場
B1	<ul style="list-style-type: none"> ・河川遡上地域・低平地浸水地域 ・小針2丁目:667世帯、小針5丁目:382世帯 ・Aブロック方面へ抜ける道が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の津波避難ビル(小針小学校、西新潟市民会館)へ避難 ・浸水開始まで時間がない場合は、垂直避難(2階以上への避難)を検討する ・Aブロックに近い地域は、高台へ避難する 	第1目標:小針小学校、西新潟市民会館 第2目標:垂直避難 第3目標:青山水道遊園、青山セレモニーホール駐車場、アーバンホール駐車場
B2	<ul style="list-style-type: none"> ・低平地浸水地域・河川遡上地域 ・小針1丁目:827世帯、小針3丁目:295世帯、小針4丁目:691世帯 ・関屋分水路堤防が決壊し、ガレキが大堀幹線に押し寄せる危険がある ・木造建築物が多い ・マンションが集中している地域がある ・水が抜けるまで1週間以上かかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の津波避難ビル(小針中学校)へ避難 ・浸水開始まで時間がない場合は、垂直避難(2階以上への避難)を検討する ・海拔が低いため、大堀幹線を越えて避難するのは危険 	第1目標:小針中学校 第2目標:垂直避難
C	<ul style="list-style-type: none"> ・低平地浸水地域 ・大型商業施設や住宅開発で人口増、新しい自治会が結成された ・商業地域で人が集まる ・西川の堤防が薄い 	<ul style="list-style-type: none"> ・西川の河川遡上が懸念されるため、川を越えて北側には行かない ・津波避難ビルに垂直避難する(2階以上への避難) 	第1目標:一時避難場所(自治会) 第2目標:アピタ新潟西店

津波に対する心得、避難方法

急いで安全な場所に避難しましょう

強い地震を感じたとき、又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたとき、揺れを感じなくても津波警報が発表されたときは、急いで安全な場所に避難しましょう。



正しい情報を入手しましょう

津波から身を守るために、テレビ、ラジオ、携帯電話などから正しい情報を入手しましょう。



余裕がない場合は近くの高台や建物へ

津波が襲来するまでに時間的な余裕がない場合や津波が既に襲来している場合は、遠くへ避難することは危険です。近くの高台や鉄筋コンクリート建物のなるべく高い階に一時避難しましょう。



避難に車は使わない

車で避難することはやめましょう。渋滞に巻き込まれ、避難が困難になり、被害を大きくすることもあります。



河川から離れましょう

川をさかのぼる津波は速度が速く、避難の際に川沿いの道や橋を通る事は危険です。



避難所・津波避難ビル

種類	名称
避難所・津波避難ビル	小針小学校
	小針中学校
	西新潟市民会館
津波避難ビル	アピタ新潟西店
	イオン新潟青山店

緊急の場合

警察 110 消防 119